

弘前学院大学における学修成果の評価に関する方針（アセスメント・ポリシー）

2019（令和元）年6月28日 弘前学院大学教育推進会議
2020（令和2）年8月26日改訂 弘前学院大学教育推進会議

弘前学院大学では、教育の質の向上を目的として、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）・教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）・入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）の3つの方針に基づき、「機関（大学全体）レベル」・「教育課程（学部・学科・コース）レベル」・「授業科目レベル」の3つのレベルにおいて、学修成果の達成状況を評価する。

1. 機関（大学全体）レベル

機関（大学全体）レベルにおいては、各学部の掲げる卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づく学修成果の到達度を総合し、学士力の達成状況を評価する。

また、進路選択への学部教育の反映状況、検定、資格、免許等の取得に対応した専門領域への就業率、GPAの集計、学業の達成状況、成長実感、満足度等についての学生の自己評価（「卒業時アンケート調査」、「学修行動アンケート調査」、「学修成果アンケート調査」等）の指標によって、大学全体の教育の達成度を評価する。

2. 教育課程（学部・学科・コース）レベル

教育課程レベルにおいては、各学部のディプロマ・ポリシーで求める知識・技能・能力等が身に付いているか測定を行う。

また、進級率、退学率、成績評価、GPA、単位修得状況、学位取得率及び資格試験、検定試験合格率等の外部試験の合格率の指標によって、学部教育の達成度を評価する。

各学部の具体的な評価方法については、以下のとおりである。

（1）文学部

進級率、退学率、成績評価、GPA、単位修得状況、学位取得率のほか、文学部で取得できる資格（注1）の取得状況によっても達成度を測定する。

卒業時においては、英語・英米文学科、日本語・日本文学科それぞれの卒業所要科目の学修到達状況、及び卒業論文（必修）の成果によって、ディプロマ・ポリシーで求める能力の到達状況を評価する。

卒業認定基準としては、2018年度以降の入学生は「基礎科目」4単位、「一般教育科目」28単位、「外国語科目・保健体育科目」10単位、「キャリアサポート科目・単位互換科目」14単位、「専門教育科目」72単位、計128単位の修得を卒業所要単位数とする。2017年度以前の入学生は「基礎科目」4単位、「一般教育科目」28単位、「外国語科目・保健体育科

目」10単位、「自由選択科目」14単位、「専門教育科目」72単位、計128単位の修得を卒業所要単位数とする。

また、進路（進学、就職）の選択、卒業時アンケート調査、学修行動アンケート調査、学修成果アンケート調査により、学部教育の達成度を多角的に評価する。

（2）社会福祉学部

退学率、成績評価、GPA、単位修得状況、学位取得率、各種任用資格の取得状況のほか、社会福祉学部で取得できる資格（注2）の取得状況によっても達成度を測定する。

卒業時においては、社会福祉実践コース、人間科学コースそれぞれの卒業所要科目の学修到達状況によって、ディプロマ・ポリシーで求める能力の到達状況を評価する。

卒業認定基準としては、「社会福祉実践コース」においては、「基礎教育科目」10単位、「社会福祉学支援科目」50単位、「社会福祉専門教育科目」70単位、計130単位の修得を卒業所要単位数とし、また「人間科学コース」においては、「基礎教育科目」10単位、「社会福祉学支援科目」70単位、「社会福祉専門教育科目」50単位、計130単位の修得を卒業所要単位数とする。

また、進路（進学、就職）の選択、卒業時アンケート調査、学修行動アンケート調査、学修成果アンケート調査により、学部教育の達成度を多角的に評価する。

（3）看護学部

退学率、成績評価、GPA、単位修得状況、学位取得率のほか、看護学部で取得できる資格（注3）の取得状況によっても達成度を測定する。

卒業認定基準としては、2019年度以降の入学生は「教養科目」20単位、「看護基礎科目」28単位、「看護実践科目」76単位、計124単位の修得を卒業所要単位数とする。2018年度入学生以前の学生は「看護基盤科目」20単位、「看護基礎科目」30単位、「看護実践科目」74単位、計124単位の修得を卒業所要単位数とする、

また、進路（進学、就職）の選択、卒業時アンケート調査、学修行動アンケート調査、学修成果アンケート調査により、学部教育の達成度を多角的に評価する。

（注1）教員免許、司書教諭、社会教育士（2020年度施行）、学芸員、日本語教員

（注2）社会福祉士国家試験受験資格、精神保健福祉士国家試験受験資格、教員免許

（注3）看護師国家試験受験資格、保健師国家試験受験資格（選択制）

（なお、養護教諭2種免許及び第1種衛生管理者免許は、保健師国家試験合格後の申請による。）

3. 授業科目レベル

授業科目レベルにおいては、成績評価、GPA (Grade Point Average)、及び「学生による授業評価アンケート」等によって在学中の達成度を測る。成績評価における学修成果を総合的に判断する指標として GPA を用いるが、その適用についてはシラバスに定める「評価方法及び評価基準」に基づき、「到達目標」に掲げる知識、能力が身に付いているか、以下の評価基準によって、その到達度を評価する。

各授業科目の成績評価基準と合否判定

素点(100点満点)	評定	GP	到達目標に対する到達度	合否
90点以上	秀	4	到達目標をすべて満たしている。	合格
80点以上 90点未満	優	3	到達目標をほぼすべて満たしている。	
70点以上 80点未満	良	2	到達目標をおおむね満たしている。	
60点以上 70点未満	可	1	到達目標を最低限度で満たしている。	
60点未満	不可	0	到達目標を満たすためには再度履修が必要である	不合格
未受験・履修放棄	*	0	(未履修の場合も GP は 0 として算出される)	—

GPA の算出

GPA は、履修登録した各授業科目の成績評価に対応する GP に、科目の単位数を乗じた数の総和を、登録科目の単位数の総和で除した数。

$$\text{GPA} = [(\text{科目の GP} \times \text{単位数}) \text{の総和}] \div \text{登録科目の単位数の総和}$$

(全科目が「秀」の場合、GPA は 4 となる。)

アセスメントに用いる指標

	機関（大学全体）レベル	教育課程レベル	授業科目レベル
入学前	入学試験 調査書 面接	入学試験 調査書 面接	/
入学後		アンケート調査	
在学中	休学率 退学率 学修成果アンケート調査 （追加） 学修行動アンケート調査 （追加） 課外活動状況	進級率 休学率 退学率 単位修得状況 GPA 学修成果アンケート調査 （追加） 学修行動アンケート調査 （追加） 課外活動状況	成績評価 GPA 学生による授業評価アンケート
卒業時	卒業率・学位授与率 進学率 就職率 卒業時アンケート調査	卒業率・学位授与率 単位修得状況 資格・免許等取得状況 進学率 就職率 卒業時アンケート調査	卒業所要科目学修到達 状況（文学部、社会福 祉学部） 卒業論文（文学部）
卒業後	既卒者アンケート調査 企業等アンケート調査	既卒者アンケート調査 企業等アンケート調査	/